学校番号	T3006

平成 31 年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	２単位	年次	２～４年次
使用教科書	高校倫理　新訂版（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

人間尊重の精神と青年期における自己形成が人間あり方や自己の確立につながることを、自分の人生として学ぶこと。評価方法は、定期考査、出席状況、授業態度、課題の提出状況等を踏まえて行なう。

2　学習の到達目標

生きる主体としての、自己の確立を促し、良識ある公民としての必要な能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人間尊重の精神と自己形成について、関心を高め、人格の完成と生きる主体としての自己の確立努める意欲をもたせる。	自己の確立について課題を見出し、人間の存在、価値、尊厳などについて多面的、多角的に考察させる。	人間としての生き方、あり方、尊厳、福祉など関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、有効に活用させる。	人間尊重の精神と青年期における自己形成が人間あり方や自己の確立につながることを理解する。
評価方法	・自分で課題を見つけ、調べようとしているかを、生徒の活動の観察、調べた内容の分析などを通して評価する。 ・学習したことを基にして、さらに新しい課題をみつけているかを、ノートやプリントの分析を通して評価する。	・考察した内容を、ノートやプリントの分析を通して評価する。 ・発問に対する生徒の反応や質問の仕方、内容を観察、吟味して評価する。 ・調べた過程や結果を分かりやすく表現しているかを、発表の仕方や発表資料から評価する。	・資料等から適切に収集、活用しているかを、発表資料や作成したレポートを通して評価する。 ・調べた過程や結果を分かりやすく表現しているか、発表の仕方や発表資料から評価する。	・筆記テストで、授業で理解した内容、身につけた知識を確認する。 ・発問に対する回答や各自のノートから、基本的な事柄を理解しているかを分析する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	青年期の課題と自己形成	・人間の生き方 ・青年期の心身の特徴	○ 	 ○	○ 	 ○	a:倫理感というものを自分の課題とひきつけて考える意欲がみられるか。 b:青年期の意義を多面的、多角的に考察できているか。 c:主題の諸資料を適切に読み解き、有用に活用できているか。 d:アイデンティティの形成を理解し、知識として身につけているか。	定期考査 出席状況 授業態度 確認テスト
前期	人間としての自覚	・ギリシアの思想 ・キリスト教 ・イスラーム教 ・仏教 ・中国思想	○ ○ 	 ○ ○ ○	 ○ 	○ ○ ○ ○	a:自分の生き方を考える手掛かりとして主題の各思想に関して関心を持てるかどうか。 b:主題の思想。宗教を、現代の社会生活や自らの生き方として結び付けて考えられるかどうか。 c: 主題の諸資料を適切に読み解き、有用に活用できているか。 d:主題の宗教の相違点と旧痛点を理解できているかどうか。	定期考査 出席状況 授業態度 確認テスト
前期	日本人としての自覚	・日本の思想 ・日本に影響を与えた外来思想	○ ○	 ○	○ 	 ○ ○	a:日本の思想の形成に風土・伝統・文化がどのよう結び付いているか関心を高められるか。 b:思想が形成される過程について多面的、多角的に考察することができるか。 c: 主題の諸資料を適切に読み解き、有用に活用できているか。 d:日本の思想が外来思想や西洋思想の影響を受けて形成されたことを理解しているか。	定期考査 出席状況 授業態度 確認テスト

後期	現代に生きる人間の倫理	・近現代の西洋思想	○	◎	○	○	a:近現代の西洋思想のものの見方、考え方に関心を高めることができるか。 b:近現代の西洋思想を通して、現代の生活や社会について多面的、多角的に考えることができるかどうか。 c: 主題の諸資料を適切に読み解き、有用に活用できているか。 d:近現代の思想の基本的な考え方理解し、知識として身につけている。	定期考査 出席状況 授業態度 確認テスト
後期	現代の諸課題と倫理	・現代の倫理的課題	◎	○	○	○	a:現代の倫理的課題を自分の関係する事柄としてとらえ関心をもつこができるかどうか。 b:現代の倫理的課題について、多面的、多角的に考察できるかどうか。 c: 主題の諸資料を適切に読み解き、有用に活用できているか。 d:現代の倫理的課題について理解することができるかどうか。	定期考査 出席状況 授業態度 確認テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b: 思考・判断・表現
c: :資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。